私たちの思いやりで住みよい環境づくり

EM（有効微生物）とは？

光合成細菌、放射菌、酵母等7種類1cc当り10億の微生物が生存しているものです。様々な汚れをきれいにして腐敗菌を抑える働きを持っています

自然に優しい環境浄化対策を行い、皆で住み良い環境を作りましょう

米のとぎ汁EM発酵液の作り方

毎日とぐお米、そのとぎ汁が川や海を汚す原因となっていることを御存知ですか？
お米のとぎ汁をそのまま１ℓ下水に流すと…魚が住める水質にする為にドラム缶３本（600ℓ）の真水が必要になります。

そこで米のとぎ汁発酵液を作り、悪臭を取ったり、下水をきれいにしたり、トイレの臭いを消したり環境に有効に役立てることができるのです！

作り方は簡単です！

材料	米のとぎ汁（新鮮な内に使う）
	サイオンＥＭ１号（５０cc）又はＥＭ城島培養液（２００cc）
	糖蜜５０ｃｃ（大さじ３杯強）「菌が増えていくためのエサ」 又は、砂糖４０ｇ（大さじ３杯強）
	ペットボトル（2ℓ）きれいに洗う。肩口（約1.8～1.9ℓ）に印をつける。 （失敗したペットボトルは使わない）
	ジョーゴ、ボール、カップ、お湯
作り方	①材料をボールに入れ、よく混ぜる（米のとぎ汁にお湯を加え人肌程度、糖蜜もお湯で溶かす）
	②ペットボトルにジョーゴを使って入れ(印迄)しっかり栓をする
	③温かいところにおきます。（30℃～40℃）冬場は、お風呂の残り湯につけるか又は、こたつの中・冷蔵庫の横・毛布などで保温する （夏季６～７日、冬季２週間程）
	④ガスで膨らんで来たら（２日～３日）キャップをゆるめガスを抜き、又、きちんと締める（酸素が嫌い）を繰り返す。冬場で２週間程度で出来上がり
	⑤膨らみ方が小さくなってきたら出来上がり（なめてみて、甘味がなくすっぱい事。くさい臭いがしなければＯＫ！）ＰＨ3.5～4
	※保存する場合は太陽が当らない、涼しい所で保存。より小さい容器に移す等。

米のとぎ汁発酵液を使ってみましょう！

場所	対　象	ＥＭ活性液	使い方	効　　果
台所	排水口 食器の洗い物	ペットボトル（５００ＭＬ）キャップ１杯（約１００倍）水は汲み置きしてカルキを飛ばす キャップを使用した場合洗って拭いて栓をする。	★食器を洗う時は濃めのとぎ汁発酵液を適量入れ、食器をつけ置きしてから洗います。 特に汚れのひどいものはスポンジに米のとぎ汁発酵液の原液をつけて洗います。	・油が落ち水切れが良い ・排水管がきれいになる
台所	換気扇 換気扇回り		★まな板の上にティッシュペーパーをかぶせ、米のとぎ汁発酵液の原液を一面にたらして一晩そのまま放置します。翌日タワシでこすると、しつこい汚れもきれいに落ちます。	・油汚れが落ちる ・排水管のヌメリがとれる
台所	換気扇 換気扇回り		★油で汚れた換気扇は、米のとぎ汁発酵液のそこにたまったオリの部分を直接つけ、一晩置き油が浮いてきたら、布やティッシュペーパーでふきとります。	・汚れが落ち清々しくなる
刃物	包丁等		★牛乳パック等（包丁のサイズにあった）に、発酵液を入れた水に一晩つけおきする。	・包丁がピカピカになり、切れるようになる
拭き掃除	畳、カーペット フローリング 押入、タンス 布団等		★バケツの水5ℓに対してコップ１杯の発酵液を入れ、それで雑巾を洗い掃除する。	・汚れが落ち清々しくなる ・雑巾が段々白くなる
トイレ	便器 トイレ室内		★便器は米のとぎ汁発酵液で洗いましょう。便器に汚れがつきにくなります。寝る前にトイレに流すとより効果を発揮します。	・便器やトイレの室内に希釈液を吹きかけます、汚れにくくなり、ニオイも消えます
風呂	浴槽 浴槽の壁 浴槽の排水口		★お湯を張った浴槽に、米のとぎ汁発酵液の上澄み液を５０～９８ｃｃ加えます。（家族の了解がいる）身体が芯から温まるばかりでなく、入浴後は、フタを開けて上記を浴室に満たしておくとカビの防止対策になります。洗い流すときも、軽くスポンジでこすれば浴槽の汚れが簡単に落とすことができます。	・目地のカビは水で落ちる ・水が柔らかくなる ・老人性乾燥は肌のかゆみが止まる
洗濯	洗濯機		★しゃぼん玉石鹸や、自分たちで作った廃油石鹸を使用の場合は発酵液をコップ１杯入れる。 ・市販の洗剤の場合、発酵液を２杯入れ市販の洗剤を3分の1に減らす。 ・下着等はとぎ汁だけでも良い。	・衣類が柔らかくなる ・色物が少し蘇ってくる ・静電気がおきない
庭	プランター 植木鉢	土壌改良　原液 葉面撒布　二千倍以上	★100㎡あたり1ℓまで（定植の20日前までに完了させること） ・葉面撒布（ＥＭのＰＨが3.5の強酸。ＰＨが10倍薄めて１ポイント数値が上がる）	・花の色が鮮やかになり、元気に育ちます。 ・野菜も美しくなります。

1. 米のとぎ汁発酵液は冬は3週間、夏は2週間を目安に使い切ってください。
   残った発酵液は悪臭が出る前に排水口やトイレに流して下さい。
2. 米のとぎ汁発酵液を希釈したものは２日～３日内で使い切りましょう。
   臭いと思ったら、土にこぼすか、良く出来た米のとぎ汁発酵液と一緒に排水口に流して捨てます。

※この倍率は、あくまでも参考倍率です。使いながら最も良い倍率を見つけてください。
この他にも、いろいろと使い道があります！